

令和8年度

絵で見る 江別市予算案

～幸せが未来へつづくまち えべつ～

市役所本庁舎

令和8年度 絵で見る江別市予算案 目 次

第1編 令和8年度予算の全体像

I 基本方針	1
II 各会計別予算規模	2

第2編 まちづくり政策別主要事業説明

政策1 自然・環境	4
政策2 産業	5
政策3 福祉・保健・医療	8
政策4 安全・安心	10
政策5 都市生活	12
政策6 子育て・教育	14
政策7 生涯学習・文化・スポーツ	17
政策8 協働・共生	18
政策9 計画推進・その他	20
特別会計	21
公営企業会計	21

第3編 資料編

資料編 歳入の状況	23
資料編 歳出の状況	24

第1編 令和8年度予算の全体像

I 基本方針

令和8年度は「えべつ未来づくりビジョン」（第7次江別市総合計画）の3年次目となります。

「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「将来都市像」と「5つのまちづくりの基本理念」の考え方を踏まえたまちづくりを進めます。

いつまでも
元気なまち

新しい時代に
挑戦するまち

みんなで支え合う
安心なまち

自然とともに
生きるまち

子どもの笑顔が
あふれるまち

この基本理念に基づいた「まちづくり政策」を進めるため、「えべつ未来戦略」を政策の中枢に据えて重点的・集中的に取り組みます。

また、人口減少と地域経済縮小の克服のため、「江別市総合戦略」を効果的に進めていきます。

II 各会計別予算規模

令和8年度一般会計当初予算は、福祉・医療などの社会保障費の増加に加え、新庁舎建設や最終処分場などの建設工事等による投資的経費の増加や、人件費・物価高騰等の影響により、令和7年度当初予算と比べて30億6千万円（5.2%）増加しました。

（単位：千円、%）

会計名	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算案	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	58,790,000	61,850,000	3,060,000	5.2
特別会計合計	26,544,000	27,091,000	547,000	2.1
国民健康保険 特別会計	12,256,000	11,765,000	△491,000	△4.0
後期高齢者医療 特別会計	2,259,000	2,590,000	331,000	14.7
介護保険 特別会計	11,726,000	11,948,000	222,000	1.9
基本財産基金運用 特別会計	303,000	788,000	485,000	160.1
企業会計合計	18,767,515	22,276,896	3,509,381	18.7
水道事業会計	4,081,116	3,741,568	△339,548	△8.3
下水道事業会計	5,559,856	5,750,515	190,659	3.4
病院事業会計	9,126,543	12,784,813	3,658,270	40.1

第2編 まちづくり政策別主要事業説明

政策1 自然・環境

3, 919, 813千円
(前年比+334, 514千円、+9.3%)

豊かな自然とともに暮らす、環境にやさしく、美しいまち

脱炭素推進事業

12, 620 千円

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指し、脱炭素社会実現に向けた取組を行います。

- ◆ 太陽光発電設備と蓄電池を導入する市民への補助
- ◆ 啓発セミナー等の開催
- ◆ **新規** 市内事業者の温室効果ガス排出量分析、省エネ診断の促進



環境マネジメントシステム事業

81 千円

環境マネジメントシステム（EMS）に基づき、省資源・省エネの推進に向けた取組を行います。

- ◆ 環境経営普及セミナーの開催
- ◆ 省エネルギー診断の実施



環境経営普及セミナー



市民向け脱炭素セミナー

生ごみ減量化推進事業

525 千円

家庭系可燃ごみの約25%を占める生ごみ減量化へ向け、効果的な手法について普及啓発等を行います。

- ◆ 生ごみ堆肥化講習会等の開催
- ◆ 生ごみ堆肥化容器購入助成
- ◆ **新規** 食品ロス削減啓発動画作成



生ごみ



小学生向けSDGs・ソーラー発電教室

環境教育等推進事業

3, 935 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発を行います。

- ◆ えべつ環境・SDGs広場の開催
- ◆ ごみ減量体験講座（買い物ゲーム）や市民環境講座の開催 など



ごみ減量体験講座（買い物ゲーム）

最終処分場整備事業

1, 652, 261 千円

第1期最終処分場の埋め立て可能容量が残り少なくなったため、第2期最終処分場の整備を行います。

- ◆ 第2期最終処分場整備工事



整備中の第2期最終処分場

その他主要事業（政策1）

■環境負荷軽減推進事業	5, 842千円
■花のある街並みづくり事業	4, 466千円
■街路樹維持管理事業	23, 156千円
■リサイクルセンター運営管理委託事業	92, 148千円
■ごみ処理施設周辺環境整備事業	6, 883千円
■し尿処理経費（処理）	48, 009千円

■分別・資源化等啓発事業	4, 120千円
■ごみ処理手数料等管理経費	125, 320千円
■ごみ収集運搬業務委託	490, 576千円
■環境クリーンセンター等長期包括的運営管理委託事業	1, 271, 425千円
■リサイクルセンター運営管理事業（臨時）	90, 222千円

政策2 産業

2, 246, 151千円

(前年比△133, 250千円、△5. 6%)

産業が地域に根ざす、活力とにぎわいのあるまち

スマート農業機械導入

促進事業

4, 000 千円

スマート農業の地域実装を促進するため、スマート農業機械を導入する市内農業者に対し補助金を交付します。

- ◆ スマート農業機械導入費用に対する補助
- ◆ **拡大** 補助対象スマート農業機械に
施設園芸環境制御システム及び
ドローンを追加



新規 スマート農業推進事業

18, 431 千円

市の農業形態に最適なスマート農業を推進する取組を実践するため、情報通信基盤整備等のハード整備および産学官連携強化等のソフト事業を行います。

- ◆ スマート農業情報通信基盤の整備・運用
- ◆ スマート農業の普及啓発の強化



新規 農業基盤整備推進事業

52, 025 千円

スマート農業技術を最大限活用するため、農地の大区画化など基盤整備事業に対する補助を行います。

- ◆ 基盤整備事業に対する補助



農業用ドローン

地域農業経営安定推進事業

30, 043 千円

農業経営の安定に向け、生産拡大に取り組む農業者に対し、機械取得や施設整備などについて、国の制度を活用した支援を行います。

- ◆ 農業用機械や施設に対する補助



トラクター

「食」と「農」の 豊かさ発見実践事業

6, 303 千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
市内大学と連携した野菜収穫・試食体験
- ◆ 中学生：地場産食材を使ったレシピコンテスト
拡大 大学と連携した出前講座の実施



畠に出没した鹿の群れ

鳥獣被害防止対策事業

463 千円

鳥獣による農業被害を減少させるため、鳥獣被害対策実施隊の設置や鳥獣対策を行う団体に対して事業費の助成を行います。

- ◆ 鳥獣捕獲活動経費に対する補助
- ◆ **拡大** エゾシカ等による農業被害対策検討のための意見交換会の実施



意見交換会の様子

江別産農畜産物

ブランディング事業

2, 096 千円

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組みます。

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を
確保するための補助



商工業活性化事業

3, 430 千円

イベント実施や商店街の景観整備等に係る費用に対し補助金を交付します。また、地域資源を活かした特産品の開発費用に対し補助金を交付します。

- ◆ イベントや商店街の景観整備等の費用に対する補助
- ◆ **拡大** 江別の特産品開発費用に対する補助

政策2 産業

企業立地等補助金

47,853 千円

市内で工場等を新設・増設、または本社機能を移転した企業やサテライトオフィスを設置する企業に対して、補助金を交付します。

- ◆ 新規立地・増設等に対する補助
(立地補助金・雇用補助金・下水道使用料補助金・設備更新補助金・本社機能移転補助金)
- ◆ サテライトオフィス設置推進補助金



江別東 IC周辺



企業誘致講演の様子

事業承継支援事業

507 千円

経営課題として先送りされる傾向にある事業承継について、専門機関へと繋げ、市内の経営資源の円滑な引継ぎを支援します。

- ◆ 専門家による個別相談会の開催
- ◆ 事業承継にかかる制度融資の運用



創業スタートアップ支援事業

2,700 千円

市内で創業や事業拡大を目指す方を対象に、創業支援相談員によるアドバイスや、セミナーなどを実施します。

- ◆ 創業支援セミナーの実施
- ◆ 創業支援事業者への補助
- ◆ 創業支援相談員による相談の実施
- ◆ 実践創業塾等の開催



未利用地活用推進事業

5,157 千円

インフラ未整備である旧陶芸の里用地や東西 IC周辺地域に設定した重点促進区域等への企業誘致を促進するため、情報提供の強化や補助金などによる立地支援を行います。

- ◆ **新規** 合併処理浄化槽設置整備事業補助金



創業支援セミナー



高校生と企業の体験型交流会

企業と人材の

マッチング支援事業

16,507 千円

就労支援拠点を設置し、働きたい女性やシニア層等の社会参加促進と企業の雇用確保に向けた各種取組を推進します。

- ◆ まちなか仕事プラザの運営
- ◆ 企業説明会・交流会等の開催
- ◆ 求職者や事業者向けセミナー等の開催
- ◆ 高校生と企業の体験型交流会の実施

政策2 産業

かわまちづくり事業

193,594千円

旧岡田倉庫付帯施設を整備し、条丁目地区の歴史性を活かした賑わい創出に取り組みます。

- ◆ 旧岡田倉庫付帯施設の改築・外構工事



完成イメージ



旧岡田倉庫



えべつマルシェ

えべつ観光協会支援事業

16,920千円

えべつ観光協会を中心に江別市の魅力を効果的に発信し、柔軟な発想で観光を推進します。

- ◆ えべつ観光協会事業への補助
 - ・観光PR事業
 - ・観光ボランティアガイド事業
 - ・えべつマルシェ事業
 - など



観光ボランティアガイド

観光振興計画推進事業

5,225千円

観光振興計画に基づき、観光による交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

- ◆ 観光情報冊子・イラストマップ配布
- ◆ レンタサイクル事業
- ◆ **拡大** 市内事業者の情報共有プラットフォーム構築



レンタサイクル



江別アンテナショップGET'S

江別アンテナショップ

GET'S管理運営事業

9,077千円

EBRI（エブリ）内アンテナショップの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力発信を図ります。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託



EBRI

その他主要事業（政策2）

- 花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業 7,912千円
- 日本型直接支払交付金 173,552千円
- 農業農村整備事業負担金 43,101千円
- 基幹水利施設管理事業 84,695千円
- 次世代就農定着サポート事業 17,250千円

- 市有防風林整備事業 5,283千円
- 勤労者研修センター管理運営事業 10,373千円
- シルバー人材センター事業補助金 24,039千円
- 中小企業資金融資事業 967,570千円
- 江別駅前再開発事業 118,889千円
- 工業団地環境整備事業 45,393千円

政策3 福祉・保健・医療

18,146,040千円

(前年比△79,854千円、△0.4%)

みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち

健康都市推進事業

1,961千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ えべつ健康フェスタの実施
- ◆ 野菜摂取レベル測定器を活用した啓発の実施
- ◆ 健康都市連合日本支部への加入



健康フェスタ



野菜摂取レベル測定器



健康づくり推進事業

7,171千円

えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 食生活改善推進事業
- ◆ 生活習慣病予防教室(中学生)
- ◆ 自殺予防のための普及啓発・人材育成
- ◆ 地域での健康教育・健康相談

成人検診推進事業

91,004千円

がん等の早期発見、早期治療のため、がん検診等の受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行います。

- ◆ 集団検診事務の一括委託(受付業務、受診勧奨、Web予約運用)
- ◆ がん検診等の実施



集団検診バス



健康づくり推進員による活動

高齢者予防接種経費

160,032千円

感染症罹患に伴う重症化を防ぐため、高齢者等に対するワクチン接種を実施します。

- ◆ 各種予防接種の実施(インフルエンザ、新型コロナ、肺炎球菌、帯状疱疹)



【国民健康保険特別会計】

特定健康診査等事業

76,848千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨ハガキの送付
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨

【介護保険特別会計】

一般介護予防事業

7,066千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ フレイル(虚弱状態)予防対策の普及啓発
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援



高齢者保健・介護予防

一体的実施推進事業

9,756千円

高齢者の健康課題を把握し、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

- ◆ 専門職派遣による健康教育・健康相談
- ◆ フレイルチェックの実施
- ◆ 個別支援による重症化予防

政策3 福祉・保健・医療



障がい者しごと相談室「すてら」

障害者就労相談支援事業

18,227千円

相談支援員が障がい者の就労・自立を支援し、定着支援員がその継続をサポートします。

- ◆ 障がい者とその家族に対する就労相談と就労継続支援の実施
- ◆ 障がい者雇用を希望・実施する企業の支援
- ◆ **拡大** 障がい者しごと相談室「すてら」の定着支援機能強化



新規 包括的支援体制整備事業

(総合的な全世代支援)

3,410千円

関係機関や地域住民と連携・協働し、多様な困りごとを抱える方を支援するため、全市的な支援体制を整備します。

- ◆ 地域課題の分析や支援体制構築のためのアドバイザリー業務委託
- ◆ 関係機関による情報共有のための連携システム導入

介護人材確保定着支援事業

4,930千円

介護人材の確保や市内定住促進のため、市内の介護事業所へ、支援を実施します。

- ◆ 雇用奨励金の交付
- ◆ ICT化支援のための補助



生活困窮者自立支援事業

49,069千円

生活困窮者支援を通じて、地域福祉の充実を図ります。

- ◆ 自立相談支援事業
- ◆ 家計改善支援事業
- ◆ 就労準備支援事業
- ◆ **新規** 就職氷河期世代等支援事業
- ◆ ひきこもり支援推進事業
- ◆ 居住支援事業



新規 救急安心センターさっぽろ事業

4,557千円

道央医療圏救急医療情報システム「救急安心センターさっぽろ (#7119)」へ参加し、いつでも救急医療相談ができる体制を確保します。

- ◆ 令和8年10月運用開始



その他主要事業（政策3）

■社会福祉協議会補助金	110,579千円
■年末見舞金支給事業	18,817千円
■夜間急病センター運営経費	164,551千円
■障害者自立支援給付費	4,803,800千円
■障害者自立支援給付費（児童）	1,573,420千円
■自立支援医療給付費	154,340千円
■重度心身障害者医療費助成事業	203,979千円

■救急医療対策事業（内科系二次救急）	11,416千円
■後期高齢者健診推進事業	30,750千円
■生活保護費	2,734,000千円
■国民健康保険会計繰出金	1,129,619千円
■後期高齢者医療会計繰出金	639,725千円
■介護保険会計繰出金	1,766,484千円
■病院事業会計繰出金	1,698,297千円

政策4 安全・安心

2,182,107千円
(前年比△9,101千円、△0.4%)
安全で安心して住み続けられるまち

本庁舎建替事業

1,257,311千円

実施設計に基づき本庁舎建設工事を行うとともに、供用開始に向けて必要な検討を進めます。

- ◆ 本庁舎建設工事等
 - ・継続費総額125億円設定
(令和8年度～令和10年度)



新庁舎外観イメージ図



避難所用移動コンテナ

地域防災力向上支援事業

8,254千円

防災普及啓発動画作成による市民広報や、地域に根ざした防災訓練等の実施により、住民の「自助・共助」の啓発を図り、地域防災力の向上を推進します。

- ◆ 総合防災訓練、地域連携避難所運営訓練
- ◆ 避難行動要支援者個別避難計画作成
- ◆ 防災あんしんマップの更新及び全戸配布
- ◆ 新規 防災普及啓発動画作成



災害対応物品整備事業

9,107千円

災害発生時に必要な物資・資器材を計画的に整備していきます。

- ◆ 食料、水、簡易トイレ等
- ◆ 冬期間の災害への対応物品
(寝袋・アルミマット等)
- ◆ 避難所における備蓄場所の整備



総合防災訓練



交通安全教室

交通安全教育・啓発事業

13,781千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 通学路街頭指導の実施



市民相談事業

4,147千円

市民の悩みごとや心配ごとに対し、必要な情報提供や関係機関との連携を行うなど、安心して相談できる場を提供します。

- ◆ 市民相談、法律相談、家庭生活相談等の実施
- ◆ **拡大** 外国人に関する相談体制の強化・充実



市民相談所

政策4 安全・安心

消防車両整備事業

41,117千円

災害発生時等に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に更新整備します。

- ◆ 消防本部車両の更新（救急自動車）
- ◆ 消防団車両の整備（消防ポンプ自動車）



救急自動車



消防本部庁舎

新規 消防団装備整備事業

17,903千円

消防団員の安全性向上のため、装備等を更新整備します。

- ◆ 防火ヘルメット（シールド付）
- ◆ 新型高性能防火衣



防火衣（イメージ）



救命講習会

その他主要事業（政策4）

■自治会防犯灯維持費補助金	23,218千円
■葬斎場管理運営事業	63,160千円
■公共街路灯維持管理経費	69,871千円
■公共街路灯新設更新等事業	24,000千円
■江別河川防災ステーション管理経費	31,535千円
■排水機場維持管理事業	85,239千円
■排水機場等改修事業	7,256千円

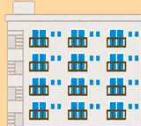
■河川等維持事業	90,714千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	43,915千円
■消防通信指令システム共同整備事業	16,303千円
■消防指令センター共同維持管理事業	55,828千円
■消防団運営費	26,673千円
■水利施設維持管理費	24,774千円

中央団地大規模改善事業

384,230千円

市営住宅長寿命化計画に基づき、中央団地の大規模改修を実施します。
(全体計画 3棟142戸 令和6~10年度)

- ◆ A・B棟改修工事
(エレベーター改修工事、
照明改修工事 ほか)



中央団地B棟

新規 あけぼの団地再整備事業

手法検討経費

7,400千円

あけぼの団地再整備計画をもとに、あけぼの団地再整備における事業手法を検討します。

- ◆ 直接建設と官民連携の経済比較 ほか



あけぼの団地

公園施設改修整備事業

236,945千円

市民が快適で安全に過ごせる公園を提供するため、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築や修繕を行います。

- ◆ 施設改築や樹木剪定の実施
- ◆ **新規** 公園のあり方検討委員会を設置



除雪作業

除排雪事業

1,886,300千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援



新規 除排雪管理システム導入事業

57,338千円

ICTを導入し、除排雪業務における事務作業の省力化を図ります。また、大雪時の迅速な除排雪計画構築や除雪路線の公表等により市民サービス向上を目指します。

- ◆ 除雪作業量等を自動計算するシステムの導入
- ◆ 除排雪状況の動態管理



車両整備事業

144,790千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除雪車を整備し、計画に沿って更新などを行います。

- ◆ **拡大** ロータリ除雪車の購入（1台増）
- ◆ **拡大** 除雪トラックの購入（1台増）

道路橋梁管理経費（臨時）

771,133千円

老朽化した道路施設の改修や再整備などを行います。

- ◆ 路面凍上改修（12路線）
- ◆ 農村地区舗装新設（3路線）
- ◆ 排水施設改修（6路線）
- ◆ 道路再整備（4路線） ほか



道路橋梁新設改築事業

527,577千円

市内の幹線道路等の新設や拡幅、歩道造成などの整備を実施し、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保します。

- ◆ 元江別中央通
- ◆ 野幌町48号道路



元江別中央通

政策5 都市生活

新規 えべつデジタルマップ事業

(道路台帳) 196,210 千円

最新のデジタル測量技術で紙図面をデジタル化し、公開型G I Sを導入することで、市民サービス向上や道路地図データの多様な利用拡大を目指します。

- ◆ 道路台帳図や地籍図のデジタル化



定住促進事業

13,394 千円

子育て世代を中心とした市外からの移住促進や、市内での定住促進に取り組みます。

- ◆ 移住・定住に関する相談窓口対応
- ◆ 東京圏からの移住に対する支援金制度（北海道との連携事業）
- ◆ 移住ポータルサイトの運用

公共交通利用促進対策事業

30,438 千円

地域公共交通計画に基づき、交通機能を維持・確保し、情報提供の強化等により公共交通の利用促進を図ります。また、郊外部のデマンド型交通運行事業を支援します。

- ◆ 豊幌地区・江北地区（**拡大** 角山地区を追加）デマンド型交通補助金
- ◆ バス路線マップ等作成
- ◆ **新規** 地域おこし協力隊制度を活用したバス事業者の乗務員確保支援



移住者交流会

行政デジタル化推進事業

40,150 千円

デジタル技術の活用により、市民の利便性を向上させるとともに、A I等の活用による業務効率化を図ります。

- ◆ 生成A Iの活用
- ◆ 基幹系システムの標準化・共通化
- ◆ 会議録作成音声認識支援システム
- ◆ **新規** C I O補佐官の設置
- ◆ **新規** ビジネスチャットツールの導入

旧江別小学校跡地

利活用事業

72,314 千円

旧江別小学校跡地の利活用を進めることで、江別駅周辺一帯の活性化を図ります。

- ◆ 萩ヶ岡2号道路の改良工事

生涯健康プラット

フォーム推進事業

10,000 千円

デジタル技術を活用し、市民が生涯にわたって自らの健康を管理していくことができるサービスを提供することで、健康意識の維持・向上を図ります。

- ◆ 生涯健康プラットフォームの運用

新規 デジタル活用促進事業

880 千円

「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、情報格差解消を推進します。また、持続的なデジタル化の方策を研究し、利便性と効率性を両立する仕組みを検討します。

- ◆ スマホなんでも相談窓口の開設
- ◆ デジタル化推進に係る検討



その他主要事業（政策5）

■公園管理事業	271,149千円
■市民参加による公園づくり事業	63,667千円
■市営住宅環境改善整備事業	32,100千円
■市営住宅管理経費	67,334千円
■道路橋梁管理経費（経常）	178,060千円
■ロードヒーティング管理経費	48,882千円
■人道橋管理経費	18,273千円

■道路橋梁再整備事業	16,300千円
■道路施設再整備事業	101,139千円
■橋梁長寿命化事業	162,570千円
■生活バス路線等運行補助事業	37,000千円
■水道事業会計繰出金	10,875千円
■下水道事業会計繰出金	841,815千円
■石狩東部広域水道企業団繰出金	59,731千円

政策6 子育て・教育

12,284,085千円
(前年比+296,103千円、+2.5%)

子どもたちが元気に育ち、笑顔で学ぶ、未来あるまち

子ども医療費助成事業

330,441千円

子どもの医療費一部助成により保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ 中学生以下の通院・入院医療費助成

地域子育て支援拠点事業

(子育てひろばぽこあぽこ) 38,410千円

子育てひろば『ぽこあぽこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型複合遊具などを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぽこあぽこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設

保育人材等確保対策事業

32,784千円

保育の質の維持・向上に向け、保育従事者の養成や教育・保育施設等に対する保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業
- ◆ **新規** 就労奨励金事業
- ◆ **新規** 学生アルバイト雇用支援事業
- ◆ **新規** 保育公開実施



ぽこあぽこ

子どもの居場所づくり

支援事業 5,774千円

子ども食堂等子どもの居場所の安定的な運営を通じて、地域全体で子どもたちを見守る環境の充実を図ります。

- ◆ **拡大** 子ども食堂等を運営する団体への補助金額を増額
- ◆ **拡大** 子どもの居場所づくりの推進に取り組むコーディネーターの配置



児童発達支援センター

機能強化事業 7,702千円

民間が運営する児童発達支援センターに機能強化員を配置し、地域の療育体制の充実や、支援の質の向上など、障がいのある子どもと家族が安心して暮らすことができる地域づくりに取り組みます。

- ◆ 早期の発達相談・子育て相談の実施
- ◆ 障がい児通所支援事業所等への専門的支援
- ◆ 研修会の実施



教育・保育施設等

給付事業

4,503,587千円

民間が運営する教育・保育施設や子ども子育て支援施設において、乳児から就学前までの子どもの教育・保育、子育て支援を実施します。

- ◆ 教育・保育施設の利用に対する給付費の支給
- ◆ 子ども子育て支援施設の利用に対する給付費の支給
- ◆ **新規** こども誰でも通園制度の利用に対する給付費の支給

保育料の独自削減

「江別市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自削減率25.82%



病児・病後児保育事業

39,424千円

子どもが病気の際に、保護者が仕事を休めない場合にも、安心して子どもを預けることのできる病児・病後児保育を実施します。

- ◆ 病児・病後児保育実施施設への補助
- ◆ **拡大** 国の実施要綱に基づく送迎対応の実施(1施設)

政策6 子育て・教育

小中一貫教育推進事業

2,508千円

全小中学校で目指す子ども像を実現するため、義務教育9年間での系統性と連続性のある指導を推進していきます。

- ◆ 小中のつながりを意識した授業
- ◆ 小中で基本的な指導方法の共通化
- ◆ 中学校教諭による小学校での授業
- ◆ 小学生の中学校体験登校、部活動体験

小中学校ICT環境

整備事業 502,686千円

小中学校におけるICT環境の整備を推進し、学習環境の充実を図ります。

- ◆ 学習者用タブレット端末の更新
- ◆ GIGAスクールサポーターの配置
- ◆ 校務支援システム運用経費
- ◆ ICT機器等の運用保守
- ◆ 校内アクセスポイントの更新



小中学校学習サポート事業

11,325千円

退職教員などの人材資源を活用し、複数の教員が指導するチームティーチングや、補充的学習を実施することで、子どもたちの学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習
- ◆ 放課後の補充的学習
- ◆ 学習サポート教員、地域ボランティアの派遣

中学校部活動サポート事業

7,136千円

生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校や関係団体と連携し、部活動の地域展開を推進します。

- ◆ **拡大** 部活動の地域展開に関する推進会議の開催
- ◆ **拡大** 部活動指導員の増員・活動時間数の増
- ◆ **拡大** 部活動地域展開アドバイザーの配置

新規 学校給食負担軽減

支援事業 327,356千円

江別市学校給食会へ小学生の給食原材料費を補助することで、保護者負担の軽減を図ります。

- ◆ 江別市学校給食会へ給食原材料費の一部を補助



学校給食メニュー例



新規 学校プール安全対策推進事業

5,444千円

水泳授業の安全性向上やプール管理における教職員負担軽減のため、モデル校で外部指導員派遣や水質管理委託を試行します。

- ◆ 外部指導員の派遣
- ◆ 清掃・水質管理の委託
- ◆ 市営プールの活用
- ◆ 近隣校とプールを共用



小中学校外国語教育支援事業

41,806千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手(ALT)が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校と中学校の英語の授業時に、ALTを派遣し、チームティーチングを行います。

- ◆ ALTの配置(10名)



ALTによる授業

政策6 子育て・教育

スクールソーシャル

ワーカー事業 13,487千円

いじめ・不登校・家庭環境などの問題や悩みを抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を生かして支援を行います。

- ◆ 悩みを抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・福祉・その他関係機関との連携調整

いじめ防止対策事業

3,416千円

心のダイレクトメールやWeb-QUなどの取組を通じて、いじめの早期発見・早期対応を図ります。

- ◆ 学校におけるいじめ調査の体制整備
- ◆ 心のダイレクトメールの実施
- ◆ いじめ根絶をテーマにした中学生サミットの開催

不登校児童生徒支援事業

27,442千円

児童生徒の不登校の未然防止を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒の教育の機会及び居場所の確保を図ります。

- ◆ 教育支援センター「ねくすと」の運営
- ◆ 専任指導員などによる教育相談
- ◆ **拡大** 中学校への登校サポートー派遣を週5回に拡大



教育支援センター「ねくすと」

放課後児童クラブ

運営費補助金 354,958千円

民間放課後児童クラブに対し、運営に係る費用の一部を助成し、放課後児童健全育成の充実を図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 臨時休校時開設への運営費補助

放課後児童クラブ運営事業

24,398千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、安心安全な放課後の「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



児童館地域交流推進事業

90,788千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。

また、併設された1か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（1クラブ）の運営

放課後児童クラブ

施設整備事業 102,075千円

今後待機児童の発生が見込まれる小学校区の管理住宅等を改修し、児童が放課後を安心安全に過ごすことができる環境を整備します。

- ◆ 大麻小学校区
- ◆ 大麻東小学校区



その他主要事業（政策6）

■保育園運営経費	212,869千円
■延長保育事業	41,040千円
■民間社会福祉施設整備費補助事業	22,913千円
■一時預かり事業	148,312千円
■児童手当	2,108,785千円
■児童扶養手当	425,443千円
■子ども発達支援推進事業	35,416千円
■ひとり親家庭等医療費助成事業	38,773千円

■妊娠婦健康診査経費	52,127千円
■乳幼児健康診査推進事業	24,765千円
■予防接種経費	215,489千円
■子育てサービス利用者支援事業	12,951千円
■特別支援教育推進事業	59,799千円
■特別支援学級生活介助事業	101,133千円
■キャリア教育推進事業	1,298千円
■学校給食事業	412,106千円

政策7

生涯学習・文化・スポーツ

1, 045, 872千円
(前年比+99, 014千円、+10. 5%)

生涯学習・文化・スポーツに親しみ、心身ともに元気で豊かに過ごせるまち



協力企業の展示

旧町村農場管理運営事業

23, 154 千円

江別の酪農の歴史を伝えるとともに、緑豊かな憩いと交流の場として、市民に親しまれ、利用される空間を提供します。

- ◆ 旧町村農場の管理運営費



旧町村農場第一牛舎

本でつながるまちづくり事業

80 千円

閲覧用の雑誌カバー等に掲載する企業広告を募集し、館内資料の充実を図ります。

- ◆ 館内や図書館ホームページで協力企業等の広告掲載
- ◆ 協力企業等の展示を実施



旧町村農場

新規 地域学校協働活動推進事業

3, 821 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの学びや成長を支え、地域を創生する活動を推進します。

- ◆ 地域学校協働本部の設置
- ◆ 地域学校協働本部コーディネーターの配置
- ◆ モデル校区への地域学校協働活動推進員の配置



手島圭三郎作「きたきつねのしあわせ」(2011)

公民館施設補修整備費

135, 390 千円

生涯学習の拠点となる公民館の老朽化した施設を改修し、施設機能の維持を図ります。

- ◆ 中央公民館、野幌公民館の照明LED化
- ◆ 大麻公民館の変圧器更新



中央公民館

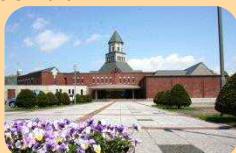
セラミックアートセンター

企画展開催事業

4, 198 千円

様々な企画展の開催を通じて優れた芸術文化に触れる機会を提供し、市民の文化意識の高揚を図ります。

- ◆ 手島圭三郎 絵本原画展
- ◆ 新規 神田日勝展
- ◆ 市内中学校美術部合同展



セラミックアートセンター

その他主要事業（政策7）

■公民館管理運営事業	124, 892千円
■市民文化ホール管理運営事業	62, 836千円
■コミュニティセンター管理運営事業	20, 135千円
■図書館運営管理事業	115, 526千円
■図書館資料整備事業	19, 921千円
■図書館設備等更新事業	35, 410千円
■陶芸文化普及振興事業	9, 359千円

■セラミックアートセンター管理運営経費	44, 273千円
■埋蔵文化財発掘調査事業	25, 333千円
■屋内体育施設管理運営事業	239, 931千円
■スポーツ大会等振興補助事業	39, 801千円
■あけぼのパークゴルフ場管理運営事業	19, 461千円
■森林キャンプ場管理運営事業	9, 836千円

政策8 協働・共生

192,423千円

(前年比△23,713千円、△11.0%)

みんながつながり、認め合い、協働しながらともに活躍するまち

生涯活躍のまち推進事業

7,522千円

江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりを進めます。

- ◆ 地域交流事業の実施
- ◆ 障がい者の就労環境の充実（福祉事業所説明会開催）
- ◆ 生涯活躍のまちコーディネーターの配置



ココルクえべつ



地域交流事業



市民交流施設「ぷらっと」

市民協働推進事業

3,649千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 協働のまちづくり活動への補助
- ◆ 市民活動活性化のためのセミナー・ワークショップの開催
- ◆ 市民活動に関する情報発信



市民交流施設関連経費

(賃借料ほか 計5事業) 43,319千円

市民活動や国際交流などを推進するため、市民交流施設「ぷらっと」を設置・運営します。

- ◆ 市民交流施設建物賃借料
- ◆ 國際交流センター
- ◆ 観光案内
- ◆ 情報図書館の図書の貸出・返却
- ◆ 証明交付窓口



協働のまちづくり活動



早朝ミニ講座

自治会活動等支援事業

902千円

自治会活動への理解と認識を深め、市民の自治会への参画意欲向上を図るなど、自治会活動を支援するためのセミナー等を開催します。

- ◆ 各自治会の課題解決を支援する「お悩み相談会」の実施

自治基本条例関連事業

1,096千円

市民自治によるまちづくりを推進するため、自治基本条例等の周知啓発を行います。

- ◆ 自治基本条例の周知啓発
- ◆ 早朝ミニ講座（小学生・中学生）の実施



えべつ地域活動運営セミナー

政策8 協働・共生

住区会館施設整備事業

5,688千円

地域コミュニティ意識醸成のため、市民活動の拠点である住区会館の整備を実施します。

- ◆ 各施設の維持にかかる修繕
- ◆ **拡大** エアコン設備設置工事
(野幌鉄南・文京台・元町地区センター、上記以外は令和9年度以降実施予定)



学生の地域活動への参加

大学連携調査研究助成事業

2,800千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金
(上限100万円)

地域おこし協力隊

活用推進事業

5,978千円

地域おこし協力隊の活用を推進するため、活動に必要な環境整備や起業支援を行います。

- ◆ 募集広告、起業支援補助金
- ◆ 地域おこし協力隊の任用(計11名)
 - ・シティプロモート・移住定住推進員 3名
 - ・地域振興推進員 3名
 - ・**拡大** バス運転手・地域魅力発信推進員 4名
 - ・**拡大** スマート農業普及啓発推進員 1名

地域自治活動事業補助金

17,325千円

自助・互助・共助のまちづくりを推進するため、その主な担い手である自治会に対し、活動に係る経費の一部を補助します。

- ◆ 自治会の活動実績に応じた費用補助



学生地域定着自治体連携事業

3,809千円

市内4大学の学生が地域活動やインターンシップなどに参加するためのコーディネートを行い、卒業後の地域定着を図ります。

- ◆ 道内8自治体等で組織する学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生と企業見学等受入先とのマッチング支援
- ◆ 市内における学生の地域活動への参加支援

江別市自治会連絡協議会補助金

1,690千円

自治会活動の更なる活性化と市民協働の推進のため、江別市自治会連絡協議会に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市自治会連絡協議会の事業費に対する補助
- ◆ 創立60周年記念事業に対する補助



現在活動中の地域おこし協力隊

その他主要事業(政策8)

■住区会館管理運営事業

80,236千円

■自治会館運営補助金

3,544千円

■自治会館等建築補助金

1,485千円

■大学連携学生地域活動支援事業

400千円

■市政協力事業補助金

7,660千円

■男女共同参画啓発事業

1,155千円

■中学生国際交流事業

3,323千円

■国際交流情報提供事業

4,804千円

政策9 計画推進・その他

15,338,681千円
(前年比+3,099,049千円,+25.3%)

市政運営の状況がいつでも分かりやすく、市民の思いに寄り添うまち

ふるさと納税普及促進事業

162,424千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産品等のPRのため、ふるさと納税者（寄附者）に対し返礼品等を贈呈します。

- ◆ ふるさと納税者（寄附者）への返礼品等贈呈
- ◆ 各種ポータルサイトへの掲載



ふるさと納税PRリーフレット



企業版ふるさと納税PRリーフレット

企業版ふるさと納税推進事業

1,885千円

江別市外に本社を有する企業等に対して市のPRを行うほか、企業版ふるさと納税制度の案内を通じて、企業とともに地域課題の解決に取り組みます。

- ◆ 庁内連携体制の強化
- ◆ 民間マッチング支援の活用
- ◆ 市内4大学の卒業生が代表を務める企業への市のPRと制度案内



新規

ホームページ運営事業

（高度化）

6,589千円

市政に関する情報を市民にわかりやすく提供するほか、移住定住に繋がる地域の魅力や子育て支援の情報にアクセスしやすくなるよう改修を行います。

- ◆ ホームページのデザイン改修
- ◆ スマホ画面対応
- ◆ レコメンド機能の追加
- ◆ 子育て支援サイトリニューアル



まちづくりアドバイザーYouTube撮影の様子

その他主要事業（政策9・政策の総合推進）

■住民情報システム高度化事業 (基幹系システム運用)

125,047千円

■職員研修事業

10,827千円

■職員採用事務経費

4,426千円

■ネットワーク網整備・保守事業

143,515千円

■庁舎維持管理経費

128,926千円

■個人番号カード発行関連経費

82,199千円

■戸籍管理システム運用経費

16,519千円

■広報えべつ発行等事業

17,611千円

■市民会館管理運営事業

93,357千円

■市民会館改修事業

86,700千円

■基金積立金

2,143,469千円

特別会計

27,091,000千円 (前年比+547,000千円、+2.1%)

国民健康保険特別会計

11,765,000千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付を適切に実施するとともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。
- ◆ データヘルス計画の中間評価を行います。

後期高齢者医療特別会計

2,590,000千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度について、資格確認書の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

介護保険特別会計

11,948,000千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていくよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第9期介護保険事業計画（令和6年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。
- ◆ 第10期介護保険事業計画を策定します。
(令和9年度～令和11年度の3か年計画)

基本財産基金運用特別会計

788,000千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

公営企業会計

22,276,896千円 (前年比+3,509,381千円、+18.7%)

水道事業会計

3,741,568千円

- ◆ 水道事業では、安全で安心して使える水道水を安定的に供給するため、水道施設の適切な更新や維持管理、災害対策を推進し、老朽配水管の布設替による耐震化等管網整備を行うほか、配水池の耐震化等を実施します。

下水道事業会計

5,750,515千円

- ◆ 下水道事業では、衛生的な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

病院事業会計

12,784,813千円

- ◆ 「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、市立病院の経営強化を着実に進めます。
- ◆ DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントを実施します。
- ◆ 高度医療機器の活用やチーム医療の充実による外来機能の高度化、専門化を図ります。
- ◆ 他の医療機関とのネットワーク強化を進め、市民にとって最適な医療を提供できるよう、体制整備に取り組みます。
- ◆ 医育大学との共同研究を進め、「高度先進地域医療」の実現を目指します。



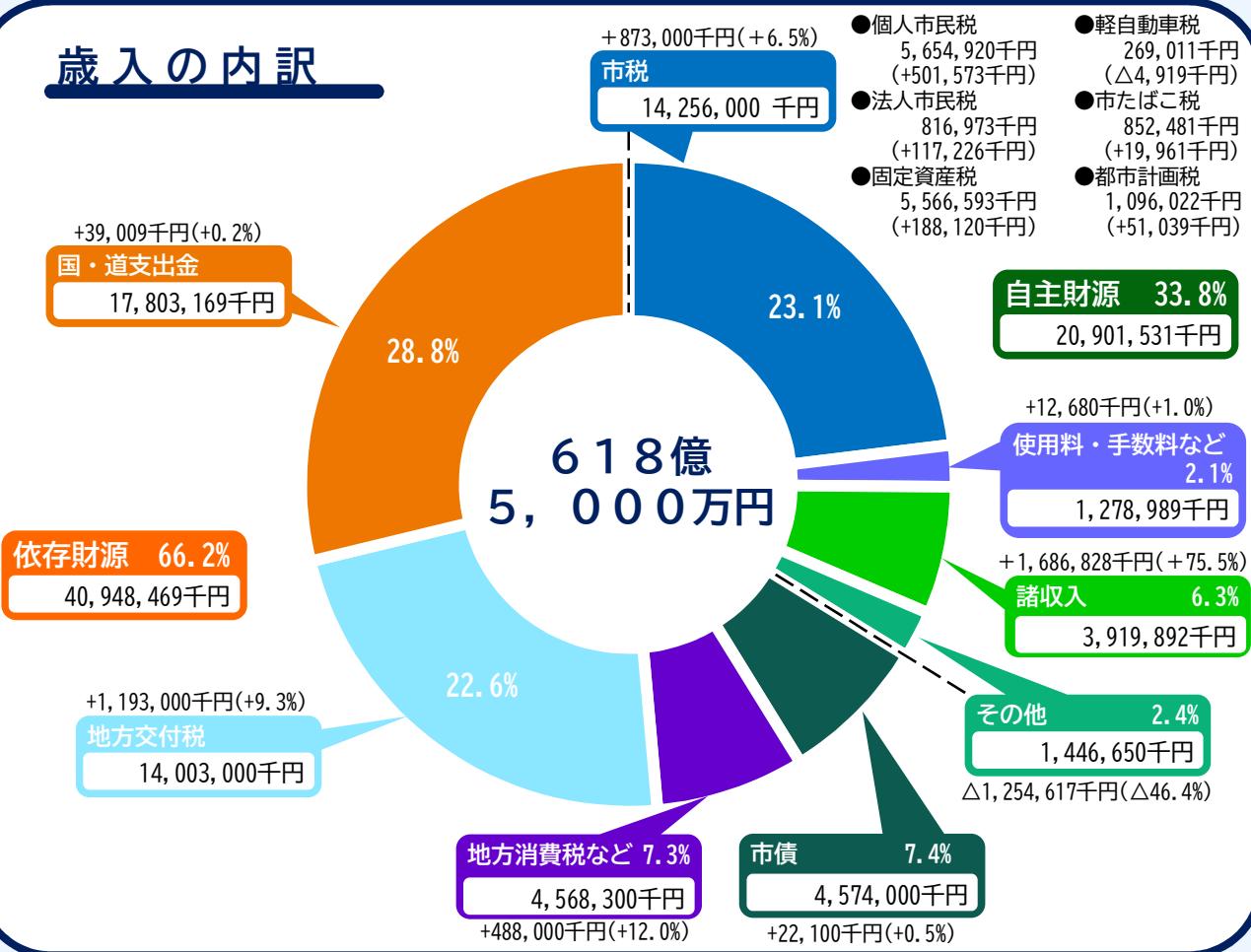
江別市水道庁舎



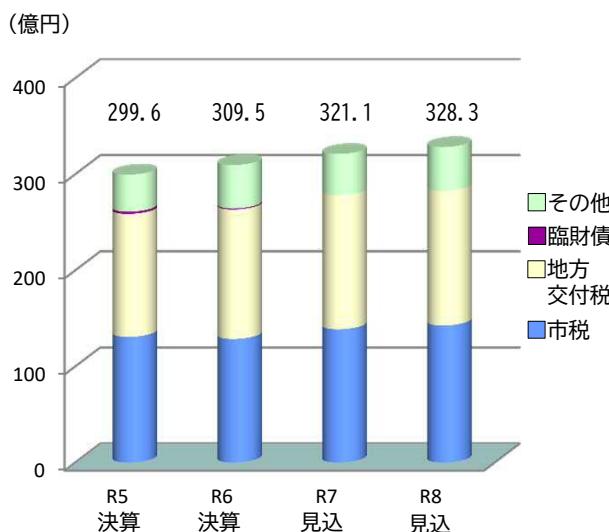
江別市立病院

第3編 資 料 編

歳入の内訳

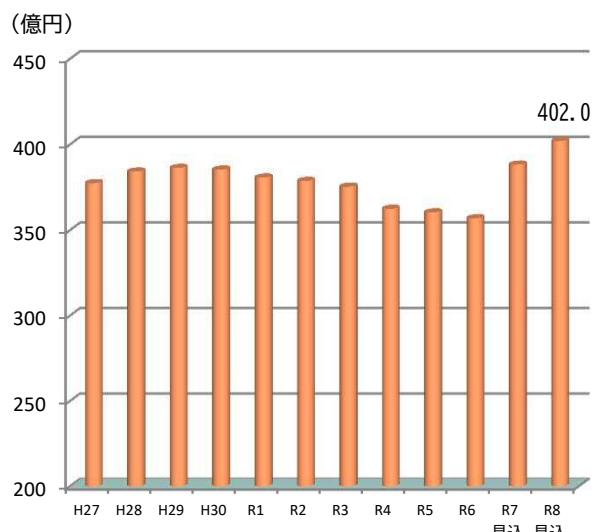


一般財源総額の状況



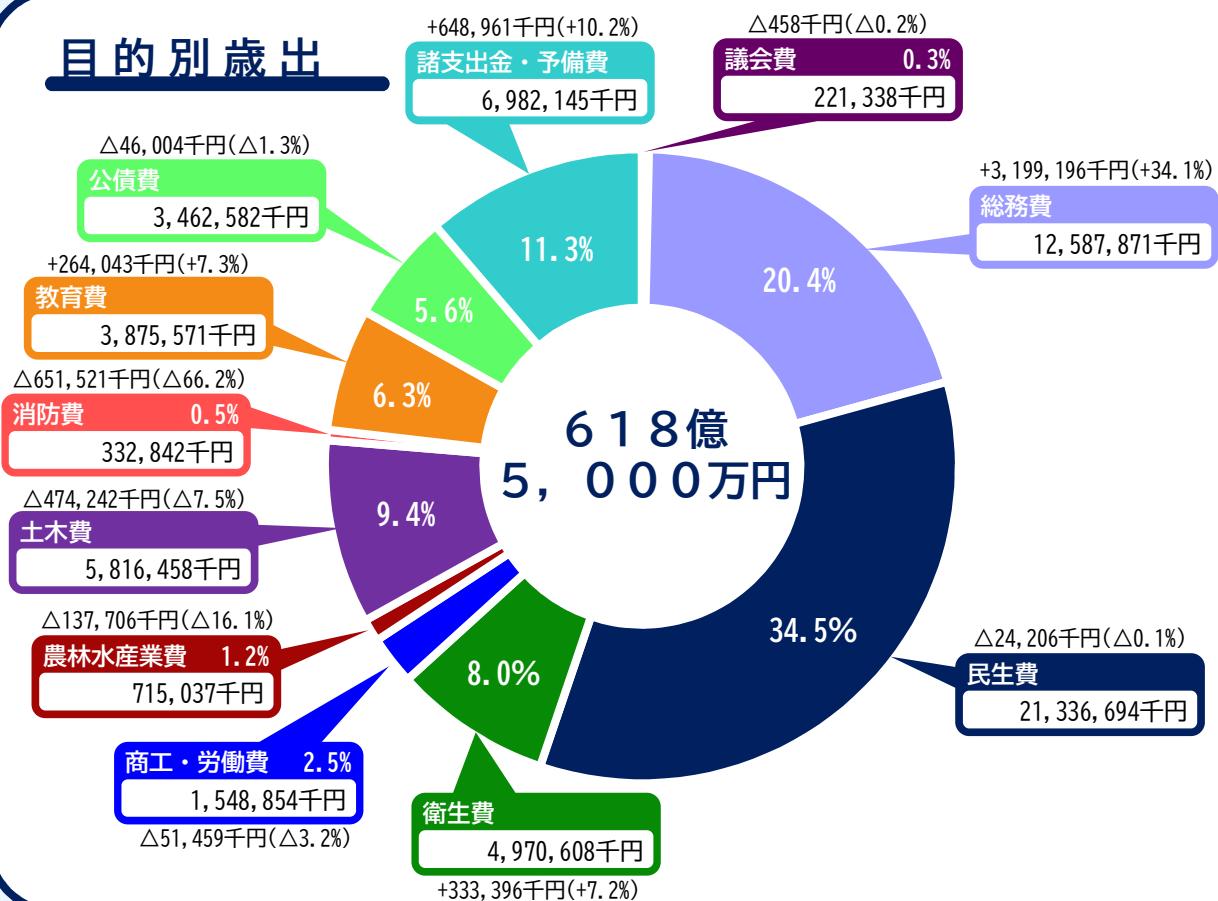
市税、地方交付税、臨時財政対策債及びその他（譲与税・交付金）を合算した一般財源総額は、市税および地方交付税の増により、令和8年度は増加する見込みです。

市債残高の推移



市債の残高は、学校耐震化や市営住宅の建替え等の大規模事業終了に伴い、平成30年度以降は概ね減少で推移しておりました。令和8年度は、新庁舎建設工事や最終処分場建設工事等の大規模建設事業により、令和7年度と比較して、市債残高が増加する見込みです。

目的別歳出



性質別歳出

